

# SYMPHONY

 TOKYO  
SYMPHONY  
ORCHESTRA  
Lorenzo VIOTTI, Music Director

**80**  
th  
ANNIVERSARY

NO. 740

Sat. 16th May  
Subscription Concert

NO. 105

Sat. 23rd May  
Kawasaki Subscription Concert

Special Concert

Sun. 24th May

2026  
MAY

5



# 演奏会でのお願い

## Concert Manner Guide



### チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。  
座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



### 開演前に電子機器の 電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



### 補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



### 周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を持ち出での鑑賞や、つばの広い／高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



### 開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



### 演奏中の飲食は ご遠慮ください

Refrain from eating and drinking during the performance.



### 演奏中はお静かに

手荷物にかけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご配慮下さい。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



### 咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



### 曲の余韻も 演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



### カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。  
※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。※スマートフォン、携帯電話、コンパクトデジタルカメラ以外の撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

# Lorenzo Vitali

Tokyo Symphony Orchestra  
Music Director

## —新たな旅のはじまりに—

東京交響楽団で、2つの「交響曲第1番」を演奏し、この旅を皆様と共にスタートできることは、私にとってこの上ない名誉であり、深い喜びを感じています。

新たな旅のはじまりに、今回のプログラムを選んだのは、私にとってごく自然なことでした。これらの作品は「始まり」を語るだけでなく、すでに「超越」をも物語っているからです。

この最初のシーズンは、私にとって様々な音楽のかたちを通してオーケストラと出会うための機会とらえています。オーケストラ、その響き、そして内なる文化を真に理解するには、じっくりと時間をかけて向き合う必要があります。

そのため、プログラムは意図的に多彩に構成しており、それぞれが異なる側面、異なる色彩、そして異なる聴き方を示しています。

皆様とコンサートホールでお会いできることを心より楽しみにしています。

東京交響楽団 第4代音楽監督 ロレンツォ・ヴィオッティ

© Jan Willem Kadenbach

Conductor

# ロレンツォ・ヴィオッティ

[指揮] Music Director 音楽監督

1990年スイス・ローザンヌ出身。同世代の指揮者の中でも最も注目される存在の一人であり、カリスマ的な存在感と深い情感、オーケストラ作品とオペラの両分野で発揮される多様な音楽性によって、現在ヨーロッパの名門オーケストラや歌劇場から高い評価を受けている。若くして国際舞台で頭角を現し、主要音楽都市を中心にキャリアを築き上げ、世界の音楽界から引く手あまたの存在となっている。

リヨンでピアノ、歌、打楽器を学び、ウィーンでゲオルク・マルクの指揮者コースに参加。さらにリスト音楽院でニコラ・パスケに師事し、本格的に指揮の研鑽を積んだ。2015年ザルツブルク音楽祭ネスレ・ヤング・コンダクター賞を受賞し、一躍国際的注目を集める存在となる。さらに国際オペラ・アワード「ニューカマー・オブ・ザ・イヤー」にも選出され、急速に注目を集めた。

2018年新国立劇場でプッチーニ《トスカ》を指揮し、日本においても高い評価を得た。2018年から2021年までポルトガル・グルベンキアン管弦楽団首席指揮者、2021年から2025年までネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団およびオランダ国立歌劇場首席指揮者を務め、オーケストラとオペラの両分野で国際的キャリアを確立した。

ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミュンヘン・フィル、ロサンゼルス・フィルなど、世界有数のオーケストラへも客演を重ねている。

東京交響楽団デビューは、2014年7月東京オペラシティシリーズで《スメタナ：我が祖国より“ヴァルタヴァ”》《ドヴォルザーク：チェロ協奏曲》《チャイコフスキー：交響曲第4番》を指揮。この公演が日本デビューのみならず、自身のプロオーケストラデビューで、且つ代役としての出演であるなか衝撃的なデビューを飾った。以来、2016年、2019年(2回)、2023年と計5回共演。初共演から10年の節目となる2024年8月に、東京交響楽団次期音楽監督に任命され、2026/27シーズンより第4代音楽監督に就任したほか、2028年8月からはチューリッヒ歌劇場音楽総監督に就任する。

Born in Lausanne, Switzerland in 1990, he is an award-winning conductor, having won major competitions including the Caduques Orchestra and MDR Conducting Competitions, and receiving the Nestlé Young Conductors Award at the 2015 Salzburg Festival. He served as Chief Conductor of the Gulbenkian Orchestra (2018–2021) and later of the Netherlands Philharmonic Orchestra and Dutch National Opera (2021–2025). He has conducted leading orchestras such as the Vienna and Berlin Philharmonics, Royal Concertgebouw, and Los Angeles Philharmonic, and appeared at major opera houses including Vienna State Opera, Paris Opera, and La Scala. He debuted in Japan with the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 and becomes 4th Music Director in April 2026.

He will become the General Music Director of the Zurich Opera House from August 2028.



2014年7月20日  
東京オペラシティシリーズ第81回  
初共演のゲネプロの様子



2016年9月3日  
東京オペラシティシリーズ第93回  
ベートーヴェン[交響曲第4番]等を披露



2019年1月12日  
第667回定期演奏会  
カーテンコールに応えるヴィオッティ



2019年7月13日  
東京オペラシティシリーズ第110回  
ゲネプロにて



2023年9月23日 第714回定期演奏会  
ベートーヴェン[交響曲第3番]と、  
R.シュトラウス[英雄の生涯]のW英雄プログラムを指揮

---

## 第740回定期演奏会に寄せて

---

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンの交響曲第1番は、ヨーゼフ・ハイドンやヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの影響を感じさせながらも、その枠にとどまらない大胆さをすでに備えています。古典的な明晰さの奥に、形式を内側から押し広げようとするエネルギーが脈打ち、若き作品でありながら深みを湛えています。

一方、グスタフ・マーラーの交響曲第1番では、音楽の世界が一気に拡張されます。この交響曲は、自然、記憶、皮肉、苦痛、そして素朴な喜びまでもが共存する空間となります。私が最も心を動かされるのは、矛盾する要素を共存させながらも決して方向性を失わないこの能力であり、まるでマーラーが世界の複雑さを受け入れるよう、私たちに優しく招いているかのようです。

この二つの作品の間には一世紀以上の隔たりがあり、それは音楽言語と視点の大きな変容を示しています。オーケストラと共にこの新たな歩みの幕開けでこれらを指揮することは、私にとって、歴史に根ざしつつ、私たちが共に築き上げていく未来へと向けた、最初の礎を据えることなのです。

音楽監督 ロレンツォ・ヴィオッティ

# 5/16

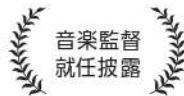
SAT

## 第740回 定期演奏会

2026年5月16日(土) 18:00 サントリーホール

## Subscription Concert No.740

Sat. 16th May 2026, 18:00 Suntory Hall



ロレンツォ・ヴィオッティ [指揮]

景山昌太郎[コンサートマスター]

Lorenzo VIOTTI, Conductor

KAGEYAMA Shotaro, Concertmaster

ベートーヴェン:交響曲第1番 八長調  
op.21(26')

- I. アダージョ・モルト - アレグロ・コン・ブリオ
- II. アンダンテ・カンタービレ・コン・モート
- III. メヌエット:アレグロ・モルト・エ・ヴィヴァーチェ
- IV. フィナーレ:アダージョ

BEETHOVEN: Symphony No.1 in C major  
op.21(26')

- I. Adagio molto - Allegro con brio
- II. Andante cantabile con moto
- III. Menuetto: Allegro molto e vivace
- IV. Finale: Adagio

休憩(20')

Intermission(20')

マーラー:交響曲第1番 二長調「巨人」(53')

- I. ゆっくりと、引きずるように
- II. 力強い動きをもって、しかし速すぎずに
- III. 厳粛に悠然と、引きずらずに
- IV. 嵐のように速く

MAHLER: Symphony No.1 in D major  
"Titan" (53')

- I. Langsam, Schleppend
- II. Kräftig bewegt, doch nicht zu schnell
- III. Feierlich und gemessen, ohne zu schleppen
- IV. Stürmisch bewegt

- 主催/公益財団法人 東京交響楽団
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
- 後援/在日スイス大使館

楽曲解説はP.6をご覧ください



アンケート  
ご協力のお願い

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827)

## 交響曲 第1番 八長調 op.21

「ベートーヴェン中心史観」のようなものが疎んじられるようになって久しい。たしかに彼ばかりが時代を画したわけではないことは自明であろう。それでもなお、交響曲第1番には、時代の変化を象徴するような側面がある。

この作品は、ベートーヴェン(1770~1827)が30歳になる年に発表されたものである。W. A. モーツァルト(1756~91)の9歳は極端にしても、J. ハイドン(1732~1809)だって、最初の交響曲を書き上げたのは、遅く見積もっても27歳の時である。12歳で自作を出版した作曲家としては、交響曲の創作に非常に慎重であった様子が窺える。

実際、1780年代の後半には、すでに交響曲の作曲を試みていたことを示すスケッチが現存する。1794~96年のスケッチは、より本格的な試みを裏付けている。物理的な証拠がこれだけ残っている以上、頭の中では10年以上に亘って交響曲創作が大きな課題であったことは想像に難くない。

ところが、この10年余の間に、交響曲をめぐる状況は一変していた。モーツァルトは、1788年夏に最後の3曲の大作を残し、その3年後に世を去った。ハイドンは、2度のロンドン滞在(1791~92; 1794~95)のために6曲ずつの交響曲を作曲した。二つ目のセットの創作は、1792年秋に彼の弟子となったベートーヴェンも目の当たりにしていたことだろ

う。ここで重要なことは、これらの楽曲を通じて、わずか7年の間に、楽曲の規模、編成、楽章内外での関連付けの手法などの前提が変わったことである。にもかかわらず、彼らはいまだ1ダースを基準とした「セット」の感覚で創作していた。半ダース、1/4ダースというわけである。

ベートーヴェンの場合、たとえば第5・6番が対をなすというようなことがしばしば言われるとはいえ、交響曲は、その第一歩から、基本的に単独で構想されている。彼は、先達の最後の作品群を参照しつつも、交響曲が各々に独立峰であるような近代のイメージを確立したといっても過言ではない。当時はいまだ「標準」とは言えない2管編成を当然のように採用し、八長調の楽曲の冒頭にへ長調の属和音を配置するなど、現代の耳には意識しないと聴き取れないようなところに、並々ならぬ意欲が漲っている。

沼口隆 Text by NUMAGUCHI Takashi

作曲:1799年か1800年初頭~1800年3月(資料消失により詳細不詳)

初演:1800年4月2日ウィーン(ホフブルク劇場)、パウル・ヴラニツキ指揮

編成:フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

グスタフ・マーラー(1860~1911)

## 交響曲 第1番 二長調「巨人」

グスタフ・マーラー(1860~1911)が《交響曲第1番》を仕上げた時期は、指揮者としてのキャリアの上昇期に重なる。ライプツィヒ時代の1883年3月、交響曲を志して書き続けていた作品を脱稿したマーラーは、ブダペスト時代の1889年11月、それを2部5楽章の「交響詩」として初演した。だが聴衆の理解は得られず、友人たちは標題を付すよう助言する。1893年10月、ハンブルク歌劇場の楽長となっていた彼は、「巨人」の題名と各楽章の説明を添えた改訂稿を演奏するが、反応はなお賛否両論を呼んだ。そこでマーラーは題名と説明をすべて撤回し、「ブルーミネ(花の章)」も削除する。こうして1896年3月、本作は4楽章構成の「交響曲」としてベルリンで再出発を果たす。彼自身がこの作品を「巨人」と名付けていた期間は思いのほか短い。

この時代のマーラーの特徴は、交響曲と歌曲の間で素材をやり取りし、パッチワークのように縫い合わせつつ作品を練り上げる創作態度にある。1883~84年カッセル時代の《さすらう若人の歌》と《交響曲第1番》の関係でもそれが顕著である。第2曲「今朝、野辺を歩いたら」は第1楽章の主要主題となり、第4曲「愛しい人の2つの青い目が」は第3楽章中間部に現れる。マーラーは歌曲の示唆するイメージを独自の音楽観のもとで管弦楽に昇華し、《交響曲第1番》の全体像を築き上げた。

**第1楽章:** ゆっくりと、引きずるように。弦楽器のフラジオレットによる響きの中、ファンファーレや鳥の声が現れ、やがてソナタ形式の主要部へ導かれる。

**第2楽章:** 力強い動きをもって、しかし速すぎずに。活気あふれる二長調のスケルツォと、憂愁を帯びたへ長調のトリオから成る。主題は若書きの歌曲《ハンスとグレーテ》に由来する。

**第3楽章:** 厳粛に悠然と、引きずらずに。童謡「フレール・ジャック」が、ユーモアとアイロニーを帯びた葬送行進曲として歌われる。なお今回の使用楽譜では、冒頭のコントラバス主題をパート全員で演奏するよう指示されている。

**第4楽章:** 嵐のように速く。激しい第1主題群と安らぎに満ちた第2主題が対照をなす。第1楽章の回想を経て、金管の輝かしい響きとともに全曲は華々しく締めくくられる。

山本まり子

Text by YAMAMOTO Mariko

作曲: 1884~1888年(2部5楽章の交響詩)

初演: 1889年11月20日ブダペスト(2部5楽章の交響詩)、  
マーラー指揮  
1896年3月16日ベルリン(4楽章の交響曲)、  
マーラー指揮

編成: フルート4(ピッコロ持替3)、オーボエ4(イングリッシュホルン持替1)、クラリネット4(小クラリネット持替2)(バスクラリネット持替1)、ファゴット3(コントラファゴット持替1)、ホルン7、トランペット5、トロンボーン4、チューバ、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、サスペンディッドシンバル、トライアングル、タムタム、ハープ、弦5部

---

## 川崎定期演奏会第105回 特別演奏会に寄せて

---

この第2のプログラムでは、色彩、呼吸、そして想像力によって形づくられる音の世界へと皆さまをご案内します。そこは、音楽が理解されると同時に、むしろ感じられる空間でもあります。

4つの最後の歌(リヒャルト・シュトラウス)は、時間を止めるかのように響きます。晩年の作品であるこの曲には、静けさと受容、そして穏やかな光が宿っています。声はオーケストラと同じ呼吸の中で広がり、決して前面に出ることなく、響きの織物からそっと立ち現れます。それは感情の欠如ではなく、深い明晰さとしての安らぎをもたらします。

ダフニスとクロエ(モーリス・ラヴェル)では、絶え間なく流動する音の世界が広がります。オーケストラは生きた風景のように色彩と質感を変え続け、音楽は物語というより、暗闇から光が現れ、静止から動きが生まれ、やがてすべてを推し進めるエネルギーへと至るイメージの連なりとして展開します。合唱は前面に立つのではなく、オーケストラに溶け込み、その色彩を拡張し、奥行きと空気感を加えます。

ラヴェルの書法は、旋律や構造だけでなく、音と音のあいだや、音色が混ざり変化していく過程に耳を傾けることを促します。その体験は、まるで音楽に触れることができるかのような感覚を伴います。

この二つの作品は、並置されることで音の中に身を置く異なる二つの在り方を示します。一つは親密で直接的、もう一つは広がりや没入に満ちたもの。両者は対比というよりも、「聴く」という行為そのもの、そして音楽が私たちの内に開く多様な空間をめぐる旅を形づくっています。

音楽監督 ロレンツォ・ヴィオッティ

5/23 5/24

SAT

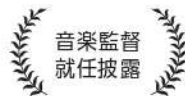
SUN

## 川崎定期演奏会 第105回

2026年5月23日(土) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

## Kawasaki Subscription Concert No.105

Sat. 23rd May 2026, 14:00 Muza Kawasaki Symphony Hall



## 特別演奏会《ロレンツォ・ヴィオッティ 音楽監督就任披露》

2026年5月24日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

## Special Concert《Lorenzo VIOTTI Inaugural Concert》

Sun. 24th May 2026, 14:00 Muza Kawasaki Symphony Hall

ロレンツォ・ヴィオッティ [指揮]

マリーナ・レベカ [ソプラノ]

東響コーラス [合唱]

原哲也 [合唱指揮]

小林吉成 [コンサートマスター]

Lorenzo VIOTTI, Conductor

Marina REBEKA, Soprano

Tokyo Symphony Chorus, Chorus

KAWAHARA Tetsuya, Chorusmaster

KOBAYASHI Issey, Concertmaster

R.シュトラウス: 4つの最後の歌(24')

I. 春

II. 9月

III. 眠りにつくとき

IV. 夕映えの中で

R. STRAUSS: Vier letzte Lieder (24')

I. Frühling (Spring)

II. September

III. Beim Schlafengehen (At Bedtime)

IV. Im Abendrot (At Sunset)

休憩(20')

Intermission(20')

ラヴェル: バレエ音楽「ダフニスとクロエ」(50')

第1部. 導入部と宗教的な踊り

第2部

第3部

RAVEL: Daphnis et Chloé (50')

Part I. Introduction et Danse religieuse

Part II

Part III

●主催/公益財団法人 東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(5/23)  
令和8年度文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業(5/24)

●協力/ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

●後援/在日スイス大使館、川崎市、「音楽のまち・かわさき」推進協議会

ロレンツォ・ヴィオッティのプロフィールはP.3をご覧ください。

楽曲解説はP.12をご覧ください



MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL



アンケート  
ご協力をお願い

5/23 5/24

SAT

SUN



©Tat'yana Vlasova

---

# Marina REBEKA

---

Soprano

マリーナ・レベカ  
[ソプラノ]

ラトビア出身。2009年、ザルツブルク音楽祭でリッカルド・ムーティの指揮のもと国際的な成功を収めて以来、現代を代表する歌手の一人として高く評価されている。ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ロイヤル・オペラ・ハウスなど世界主要歌劇場に定期的に出演。レパートリーはバロックからベルカント、さらにヴェルディやプッチーニのドラマティックなヒロインまで幅広い。ズービン・メータ、アントニオ・パッパーノら名指揮者と共演を重ね、2025年にはグスタボ・ドゥダメル指揮、ロンドン交響楽団でデビュー。近年は《メデア》《ノルマ》で成功を収め、2025/26シーズンにはサン・カルロ劇場で《ナブッコ》、マドリード王立劇場で《イル・トロヴァトーレ》へデビューした。

Since her international breakthrough at the Salzburg Festival in 2009 under Riccardo Muti, Latvian soprano Marina Rebeka has established herself as one of the most acclaimed singers of our time. She is a regular guest at the world's leading opera houses, including Teatro alla Scala, the Metropolitan Opera, the Royal Opera House London, Vienna State Opera, Opéra National de Paris, and Bavarian State Opera. Rebeka's vast repertoire spans from Baroque and Bel Canto to the great dramatic heroines of Verdi and Puccini. She collaborates with renowned conductors such as Zubin Mehta, Antonio Pappano, Fabio Luisi, Yannick Nézet-Séguin, and Daniele Gatti. Recent concert highlights include her celebrated debut with the London Symphony Orchestra under Gustavo Dudamel in May 2025 (Ravel's *Shéhérazade*), followed by a European tour of Verdi's *Requiem* with the Zurich Opera under Gianandrea Noseda in spring 2026. Following her sensational performances in the title roles of *Medée* and *Norma* at La Scala, her 2025/26 season has been marked by her debut in *Nabucco* at Teatro San Carlo and *Il Trovatore* at Teatro Real Madrid.

## KAWAHARA Tetsuya, Chorusmaster

# 河原哲也 [合唱指揮]



東京音楽大学指揮科卒業。東京音楽大学研究科指揮専攻修了。  
在学中よりオペラ公演の音楽スタッフとして活動を始め、新国立劇場開館時  
には柿落としての「建」「アイダ」の副指揮を務める。

現在、東京二期会・日本オペラ振興会を中心にオペラ公演の合唱指揮・副指揮を務めている。  
また各地のオペラ公演を指揮し、好評を博している。愛知県立芸術大学非常勤講師。

## Tokyo Symphony Chorus, Chorus

# 東響コーラス [合唱]

1987年9月、東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」ことを目的としている。指導には、演奏する楽曲の背景や歌詞に使用されている言語に精通した合唱指導者、発声指導者、伴奏ピアニスト、言語指導者を招き、公演ごとに出演者を決定するオーディションを行うことで常に演奏の質を高めている。歴代音楽監督の故秋山和慶、ユベール・スターン、ジョナサン・ノットからの信頼も厚い。古典から現代音楽、また日本初演など幅広いレパートリーに対応している。他団体からの出演依頼も多く、近年では「ラ・フォル・ジュルネ」に出演、「長野の県民文化会館とウィーン楽友協会の提携40周年演奏会」に賛助出演し好評を得た。2020年にはアマチュア合唱団として初めて「ミュージック・ペンクラブ音楽賞 室内楽・合唱部門」を受賞。

### メンバー表

●合唱指揮：河原哲也  
稽古ピアニスト：古瀬安子、清水 綾  
発声指導：大沼 徹、辻 裕久、高橋 淳  
武内朋子、中山美紀

●委員長 岡 邦子 (Sop.)

●副委員長 鳥居順子 (Sop.)

垣花亜紗子 (Alt.)

堀 浩史 (Bas.)

●パートリーダー

Sop. (正)佐藤由紀子 (副)小笠原美貴

Alt. (正)水越睦美 (副)小林朋子

Ten. (正)枇杷高志 (副)内山誠彦、奥貫壮史

Bas. (正)早川虎己 (副)池上陽一郎

●コーラス委員

Sop. 石村友希子、内野英子、森田恵子

Alt. 岡本いつか、竹内あゆみ、和田真理

Ten. 菅野広和、木村 健、和田 敏

Bas. 荒川雅人、仲 恭令、渡辺理公男

### Soprano

石井 恵

石村友希子

岩元邦子

内野英子

遠藤由理

大貫由香

岡 邦子

小笠原美貴

川崎仁美

川之上裕美子

草野真由美

車 伸恵

佐藤深雪

佐藤由紀子

鈴木育代

鈴木信恵

鈴木美和

ソーントン久美

武田美香

都築靖子

鳥居順子

東原なお

平川陽子

藤記富子

本行佳奈

松本恵美

武藤弘美

森田恵子

森本由希

山田美生子

山津裕美

山之内文子

### Alto

石渡範子

伊藤晴子

伊藤緒緒乃

上原ハルミ

江藤祐子

大島裕美子

岡本いつか

奥山由里

尾崎いづみ

尾島夕里

尾田雅代

垣花亜紗子

菊池万美子

木内道子

小林朋子

小張さゆり

齋藤由紀

佐藤理恵

須田真理子

関口あずみ

高田恵子

竹内あゆみ

辻 朱美

中島奏子

福島里美

藤嶋智子

藤田 栄

堀西奏織

水越睦美

山邊伸子

吉岡美佳子

和田真理

渡邊朋子

### Tenor

五十嵐建平

内山誠彦

大崎 純

小川英樹

奥貫壮史

菅野広和

木村 健

鈴木敏也

竹内邦夫

谷川 啓

谷川俊一郎

塚本 隆

佃 浩一

中原裕幸

名塩 優

西 宏隆

枇杷高志

増淵 隆

水谷晴彦

和田 敏

### Bass

荒川雅人

荒木康司

池上陽一郎

岡野一哉

河村太郎

菊池 靖

木内正則

倉沢正樹

小沼敬四郎

小山治彦

篠田一朗

杉山慎二

竹内誠治

土井 文

富岡 光

仲 恭令

秋野 慎

早川虎己

堀 浩史

水野 敬

宮坂知明

守谷隆一

柳谷一彦

山口 卓

山崎弘光

山之内達也

渡辺理公男

5/23 5/24

SAT

SUN

リヒャルト・シュトラウス(1864~1949)

## 4つの最後の歌

1948年、第2次世界大戦後のドイツ国内の混乱を避け、ジュネーヴ近郊のモントルーに滞在していたリヒャルト・シュトラウス(1864~1949)は、息子フランツの薦めにより、新たなオーケストラ伴奏歌曲の創作に挑む。5月6日に、アイヒェンドルフの詩による「夕映えにて」がまず完成。続いてヘルマン・ヘッセの詩から、7月に「春」、8月に「眠りの前に」、9月に「9月」を作曲。この折に併せて「憩えわが魂 Ruhe, meine Seele」作品27-3が管弦楽化されているのは興味深い。あきらかに、齢80を越えたシュトラウスが最晩年に、これらの歌曲を音楽での「遺書」として意識的に遺そうとしたことが、これらの詩の主題からも透けて見える。生前のシュトラウス自身が本作の演奏に立ち会うことはなく、その死後、1950年にフルトヴェングラーの指揮、フラグスタートの独唱によって初演された。

楽譜商ブージー&ホークスの社長エルンスト・ロートは、この4曲をまとめ、「4つの最後の歌」というタイトルで出版する。その際の曲順は、オーケストラの編成が徐々に大きくなるよう配慮されたとおもわれ、シュトラウス自身がこの4曲をチクルスとして構想したわけでは「憩えわが魂」のことを考えても)なさそうである。

**第1曲「春」**はハ短調という暗い雰囲気の前奏に導かれて始まるが、歌が入り、詩の内容が明るくなるに従い、ハ短調からイ長調へと転調し、より明るい雰囲気になる。メリスマで歌われる「小鳥の歌」に

は、フルートが小鳥の声を模してこれに  
 応える。頻繁な転調が印象的な「春」に  
 比べると、**第2曲「9月」**はほぼ二長調で安定  
 している。「花に降る雨」はヴァイオリン  
 の下降する音型で、「ひらひらと舞い落ち  
 る木の葉」はフルートの走句とヴァイオ  
 リンのスタッカートで表現される。**第3曲**  
**「眠りにつくとき」**の間奏では、前奏と同じ  
 主題で始まるヴァイオリンの甘美なソ  
 ロが夜の国でのまどろみを歌い、ソプラ  
 ノもその旋律を歌い継ぐ。どこまでも広  
 がるような空を描写する前奏が印象的  
 な**第4曲「夕映えの中で」**。ここで初めて  
 登場するティンパニの深みある音が、全  
 曲中でも最も雄大な風景を描きだす。フ  
 ルートで描かれた2羽のひばりが空を舞  
 い、最終行の「これが死というものか  
 (Ist dies etwa der Tod?)」では、交響詩  
 《死と変容(浄化)》における浄化のモ  
 ティーフが鳴り響く。

広瀬大介 Text by HIROSE Daisuke

作曲:1948年5~9月

初演:1950年5月22日ロンドン、フィルハーモニア管弦楽  
 団、ヴィルヘルム・フルトヴェングラー指揮、キルス  
 テン・フラグスタート独唱編成:ピッコロ、フルート3(ピッコロ持替3)、オーボエ2、イ  
 ングリッシュホルン、クラリネット2、バスクラリネット、  
 ファゴット3(コントラファゴット持替1)、ホルン  
 4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ、ティンパ  
 ニ、ハープ、チェレスタ、弦5部

モーリス・ラヴェル(1875~1937)

## バレエ音楽「ダフニスとクロエ」

《ダフニスとクロエ》は、ラヴェルがバレエ・リュスを率いるセルゲイ・ディアギレフの依頼を受けて作曲したバレエ音楽。ロシア出身の辣腕プロデューサー、ディアギレフが主宰したバレエ・リュスの舞台は、踊り手、振付、音楽、美術すべてにわたって、当代一流の芸術家たちを集めたことで知られる。ラヴェルは、バレエ・ダンサー兼振付師のミハイル・フォーキンが3世紀頃のギリシアの作家ロンゴスの抒情詩を基に書いた台本による本作に1909年に着手したが、作曲は難航し、初演は1912年によく行われた。

今回はバレエ音楽全曲が合唱付きで演奏される。この合唱は歌詞をもたず、いわば楽器の一つとして扱われている。ラヴェルはディアギレフの求めに応じて合唱抜きの管弦楽版を作ったものの、合唱が作品の重要な構成要素だと考え、主要な上演においては合唱を加えるよう求めていた。ラヴェルが思い描いた精妙な音の世界を味わいたい。

全体は1幕3部からなる。

**第1部** 羊飼いのダフニスとクロエが登場する。牛飼いのドルコンがクロエに言い寄り、ダフニスは嫉妬する。ダフニスとドルコンは踊りで勝負し、ダフニスが勝利するが、その後、海賊が来襲し、クロエはさらわれてしまう。それを知って絶望するダフニス。そこに3人のニンフが現れてダフニスを蘇生させ、パンの神に祈

らせる。(夜想曲)に続いて、ア・カペラの合唱による(間奏曲)が始まる。

**第2部** 海賊ブリュアクシスの陣営でダイナミックな(戦いの踊り)が始まる。海賊の首領の前に連れて来られたクロエは、踊りを踊りながら、脱出の機会をうかがうが失敗し、あわやというところで、突然パンの神の巨大な幻影が現れ、海賊たちは逃げ去ってしまう。

**第3部** 静かな情景から、しだいに明るくなっていく様子が描かれる(夜明け)の音楽の後、ダフニスとクロエの感動的な再会となる。老羊飼いが、パンの神はかつて愛したシリクスの思い出ゆえに、クロエを助けたのだと説明する。そこで、ダフニスとクロエはパンの神とシリクスの恋をまねた(無言劇)を演じる。パンの神が奏でる笛の音をフルートが表現する。その後(全員の踊り)が熱狂的に踊られる。

井上さつき Text by INOUE Satsuki

作曲:1909~1912年

初演:1912年6月8日パリ(シャトレ劇場)、ピエール・モントゥー指揮、美術・衣装はレオン・バクスト、振付はミハイル・フォーキン、配役はヴァスラフ・ジジンスキー(ダフニス)、タマラ・カルサヴィナ(クロエ)

編成:ピッコロ、フルート3(ピッコロ持替3)、オーボエ2、イングリッシュホルン、小クラリネット、クラリネット2、バスクラリネット、ファゴット3(コントラファゴット持替1)、ホルン4、トランペット4、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、大太鼓、中太鼓、小太鼓、アンティークシンバル、シンバル、トライアングル、タンバリン、カスタネット、タムタム、ウィンドマシーン、シロフォン、ハーブ2、チェレスタ、ジュ・ドゥ・タンブル、弦5部

5/23 5/24

SAT

SUN

## R.シュトラウス:4つの最後の歌

[歌詞対訳] 訳:広瀬大介

### Frühling

In dammigen Gräften  
träumte ich lang  
von deinen Bäumen und blauen Lüften,  
von deinem Duft und Vogelsang.

Nun liegst du erschlossen  
in Gleiß und Zier,  
von Licht übergossen  
wie ein Wunder vor mir.

Du kennst mich wieder,  
du lockst mich zart,  
es zittert durch all meine Glieder  
deine selige Gegenwart.

### September

Der Garten trauert,  
kühl sinkt in die Blumen der Regen.  
Der Sommer schauert  
still seinem Ende entgegen.

Golden tropft Blatt um Blatt  
nieder vom hohen Akazienbaum.  
Sommer lächelt erstaunt und matt  
in den sterbenden Gartentraum.

Lange noch bei den Rosen  
bleibt er stehen, sehnt sich nach Ruh.  
Langsam tut er die  
müdgewordenen Augen zu.

### 春

夜明け前の 墓の中で  
長いこと 夢見たのは  
あなたの樹々と 青い空  
あなたの息吹と 鳥の歌

あなたは ヴェールを脱ぎ棄て  
まばゆき 装いを凝らし  
溢れんばかりの 光の中から  
奇蹟のごとく 現われた

いま再び あなたに会える  
その 甘まないざないに  
躰という躰が 震える  
あなたと共にある 至福の歎び

### 9月

庭は 打ちひしがれ  
降りそそぐ冷雨が 花へと沈む  
寒さに震えながら  
静かに 終わりの時を迎える 夏

ひとひらの 金色の葉  
アカシアの樹から 舞い落ちる  
おどろき 力なさげに  
死にゆく庭に 微笑みかける

あのバラの傍らで いまひととき  
安らぎへと 想いを馳せる  
そして 疲れ果て  
ゆっくりと その眼を閉じる

## Beim Schlafengehen

Nun der Tag mich müd gemacht,  
soll mein sehnliches Verlangen  
freundlich die gestirnte Nacht  
wie ein müdes Kind empfangen.

Hande, laßt von allem Tun,  
Stirn vergiß du alles Denken,  
alle meine Sinne nun  
wollen sich in Schlummer senken.

Und die Seele unbewacht  
will in freien Flügen schweben,  
um im Zauberkreis der Nacht  
tief und tausendfach zu leben.

## Im Abendrot

Wir sind durch Not und Freude  
gegangen Hand in Hand,  
vom Wandern ruhen wir  
nun überm stillen Land.

Rings sich die Thaler neigen,  
es dunkelt schon die Luft,  
zwei Lerchen nur noch steigen  
nachträumend in den Duft.

Tritt her, und laß sie schwirren,  
bald ist es Schlafenszeit,  
daß wir uns nicht verirren  
in dieser Einsamkeit.

O weiter stiller Friede!  
So tief im Abendrot,  
wie sind wir wandermüde --  
Ist dies etwa der Tod?

## 眠りにつくとき

昼に疲れ果てた いま  
心からの 望みは  
星降る夜に 抱かれること  
遊び疲れた 子供のように

手を使うのは やめよ  
頭を使うのも やめよ  
すべての感覚を  
まどろみへと 沈ませよ

見張るものなき 魂も  
自由な翼を得て 羽ばたけ  
夜の 魅惑の世界で  
深く 千代に生きるため

(以上3曲 Hermann Hesse ヘルマン・ヘッセ)

## 夕映えの中で

苦しいとき 楽しいときも  
手に手をとって 歩んだふたりは  
いま さすらいをやめ  
静かな田舎を見下ろしている

谷間に 囲まれて  
夕闇が あたりを覆う  
空にはただ 二羽のひばり  
夢を追って 霞に揚がる

こちらへ 鳥は飛ぶにまかせ  
もうすぐ 眠りの時間  
道を見失わぬよう  
ここには ただふたりきり

広やかな 静かなやすらぎ  
かくも 深き夕映え  
さすらいにも 飽き果てた  
これが 死というものか

(Josef von Eichendorff ヨーゼフ・フォン・アイヒェンドルフ)



ロレンツォ・ヴィオッティを  
音楽監督に得られる幸運

文 中東生(音楽ジャーナリスト)

# LORENZO VIOTTI

東京交響楽団の次期音楽監督がヴィオッティに決まったというニュースを見て、「東響凄い!」と感じた事を、まずは告白しておく。本稿を執筆する栄誉に与るとは思わなかったが、ジョナサン・ノットと10年以上創り上げた東響が、彼の退任後にどこを目指すのか案じていたからだ。その後、2028年からヴィオッティがチューリッヒ歌劇場の音楽監督になると

発表され、それより先に東響が契約していて良かったと思った。本稿を書くにあたり、ヴィオッティの故郷、ローザンヌ在住の音楽評論家クラウディオ・ポローニ氏と話すと、ローザンヌはもちろん、隣州のスイス・ロマンド管弦楽団員にも評判の良いヴィオッティは、ここでも今年契約が終わるノットの後任に推す声があるという。「日本で音楽監督になるなら、ス



イス・ロマンド管は諦めざるを得ないだろう」とポローニ氏はがっかりしたようだった。先見の明が東響に幸運をもたらしたのだ。

ヴィオッティと言えば、故マルチェッロのファンがまだ多い中、ロレンツォが父と同じ道を進んでいた事はあまり知られていなかった。それは打楽器奏者の経歴や、姉のマリーナと共にデスメタルのバンドを組んでいたことも影響していたかもしれない。2013年にカダケス国際指揮者コンクールで優勝し、23のオーケストラと共演する機会を得て、2015年にザルツブルク音楽祭のヤング・コンダクターズ・アワードからの招待に繋がった。そこでの優勝で初めて、前述のポローニ氏は取材申し込みをしたという。その3年後、ミラノ・スカラ座で《ロミオとジュリエット》を指揮したヴィオッティに元スイス国営テレビ記者のアネッテ・フライターク氏がインタビューを申し込むと、実現まで2年も待たなければならぬ程、超多忙な指揮者になっていた。

筆者がロレンツォ・ヴィオッティの大ききを初めて実感したのもその年、チューリッヒ歌劇場で聴いた《ウェルテル》再演だった。その前にもコンサートで聴いた記憶はあるが、この時は2017年の新演出プレミエで別の指揮者が作り上げた音楽が耳に残っていたため、ヴィオッティの棒でフランス音楽として匂い立つようになったオーケストラに驚いた。彼のアプローチは色彩豊かで、繊細に細やかな感情を描写する。その翌年、ハンブルク州立歌劇場の《カルメン》に抜擢したデルノン元総裁も、ヴィオッティの優れたディナーミク表現を高く評価している。

その《カルメン》でメトロポリタン歌劇場にデビューする予定がロックダウンで流れたヴィオッティは、丁度その空いた期間に、コロナ規制で入国できなかった指揮者に代わり、チューリッヒ歌劇場でカールマンのオペレッタ《シャルダッシュの女王》新演出を指揮した。コロナ感染予防対策として、オーケストラは練習場で演奏し、グラスファイバーで繋いだ劇場では歌手のみが舞台上で歌うという打開策を取ってシーズンを開けていたため、



## Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

### ロレンツォ・ヴィオッティを音楽監督に得られる幸運

直接歌手陣との連携が取りにくかったからか、ヴィオッティの本領発揮とはならなかったが、当歌劇場との絆は強固になった。

2021年にはオランダ国立オペラ・オランダフィルハーモニー管弦楽団首席指揮者に就任し、翌年チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団と初共演した。父と聴いた思い出深い作曲家だというコルンゴルトの「ヴァイオリン協奏曲」(ソリストはヴェロニカ・エーベルレ)は、楽章の間で拍手してしまうことはあまりないトーンハレの聴衆が第1楽章後、つい手を叩き始めてしまうほどエキサイティングだった。第2楽章でのノスタルジックで完全な「静」、そして第3楽章でのドラマチックなクライマックスも、そのまま2025年4月に新演出された同作曲家のオペラ《死の都》に生かされていた。初日の音楽的説得力で、彼の力量は近隣諸国の批評家にも知れ亘ることになった。

年末にはJ.シュトラウスのオペレッタ《こうもり》新演出で姉マリーナと共演した。羽目を外す部分もある演出でもしっかり歌手をサポートする安定感は、「オペ

レッタは心の故郷」と前述のフライターク氏にインタビューで語った言葉通りの出来栄であった。それはまたトーンハレデビュー時2曲目のR.シュトラウス「《ばらの騎士》組曲」で聴かせたウィーンの匂いも思い出させる。オクタヴィアンとゾフィの愛のメロディが心を震わせるので、彼の指揮するオペラ全曲が聴きたくなかった。

チューリッヒ歌劇場管弦楽団チェロ奏者として、ヴィオッティが当歌劇場で振った全ての演目で共演した横田誠治氏は、彼の指揮の魅力を「多彩で繊細な表現を大切にしながらも、強いエネルギーを失わず、オーケストラを一瞬で生き生きとさせるところ」だと分析する。彼がプロデビューを果たした東響との絆が、今後さらに深まることで、どんな特別な響きが生まれるのかに注目しつつ、自身が所属する楽団でも響きやスタイルが長期的にどう変化していくのか、その幸運にワクワクしていると言う。

スポーツ万能で、ブルガリなどファッション界の大使役も果たすヴィオッティは、クラシックファン層拡大の幸運も運んで来るだろう。

# 東京交響楽団サポート会員

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

＊新会員の方です。ありがとうございました(4月25日現在、五十音順)。

ご  
芳  
名  
(敬称略)

法  
人  
会  
員

## ●プラチナ会員

株式会社ティーワイリミテッド	株式会社ドワンゴ
株式会社フェイス	

## ●ダイヤモンド会員

有限責任あずさ監査法人	環境ステーション株式会社
株式会社伊藤総合事務所	株式会社すかいらくホールディングス
株式会社イノアックコーポレーション	株式会社日本財託
株式会社インサイド・アウト	株式会社パソナグループ
株式会社エイチ・アイ・エス	株式会社雅玖仁

## ●ゴールド会員

株式会社青山メインランド	西松建設株式会社
株式会社あ佳音	株式会社NIPPO
オリエンタル酵母工業株式会社	株式会社日本M&Aセンター
サントリーホールディングス株式会社	ヒノキ新薬株式会社
社会医療法人財団石心会	司法書士法人ふなざき総合事務所
玉川学園・玉川大学	ミヨシ油脂株式会社
中外製薬株式会社	ヤマザキビスケット株式会社
株式会社TFDコーポレーション	ヤマト科学グループホールディングス
株式会社鉄鋼ビルディング	税理士法人WATANABE
株式会社トーシンパートナーズ	

## ●シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト	月島食品工業株式会社
公益財団法人青梅佐藤財団	東京鐵鋼株式会社
川崎信用金庫	司法書士法人村田事務所
松竹株式会社	

## ●ブロンズ会員

アーティスト ホールディングス株式会社	ニッシンエレクトロ株式会社
株式会社ヴァリュース	富士フィルムビジネス イノベーションジャパン株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー	神奈川支社
株式会社シグマコミュニケーションズ	前山歯科医院
新宿村スタジオ	株式会社LALLヒューマン ホールディングス
有限会社青史堂印刷	

## 賛助企業

政鬼運輸株式会社	山崎製パン株式会社
----------	-----------

匿名3社

# 東京交響楽団サポート会員

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

\*新会員の方です。ありがとうございました(4月25日現在、五十音順)。

## ●サークル50

伊藤 晴美	木暮 紀子
伊藤 美樹	清水 尚
沖田 陽子	山口 積恵
鷺海 暈明	匿名 4名

塩澤 誠司	早川 利郎
高際 比呂志	松信 正志
寺西 基守	村松 秀幸
中島 信男	

山田 修造
山本 喜良
吉田 哲四郎
匿名 4名

## ●サークル25

荒木 陽子	手塚 和彦
猪田 隆文	川 二郎
井上 孝昭	瀬 雅智
岡野 一哉	山本 誠一
加藤 英輔	匿名 2名
後藤 実	

## ●フレンズ3

秋山 真一	泉野 博	西田 尚弘
明洋 重樹	小曾 太	本根 研一
荒石 洋一	小曾 孝	根本 直
井澤 卓聡	信因 智代子	本野 暢秀
岩大 正純	美智子	野島 尚人
津大 純透	悦子	濱林 奈
大 啓	健司	福田 栄
大 昌	良枝	藤野 唐
岡 昌	浩也	森江 明
岡 直	弘也	堀下 正
小 篤	明子	橋村 正
奥 桂	文里	村山 健
田 俊	夕明	岡 暁
小 尾	切	諸 真
田 小	修	岡 真
皆 加	政	山 山
藤 兼	由	中 中
池 菊	伸	山 山
木 鋪	万	鏡 山
北 川	洋	尾 山
久 保	光	吉 山
久 保	一穂	田 吉
		富 原
		和 美
		利 真
		Max
		Wong
		匿名 26名

## ●サークル10

天野 佳和	高田 官子	光麻 官子
五十嵐 建	野高 一	幸珠 一
石川 菜	高野 正	正行 博
岩田 菜	高家 正	忍行 博
山田 新	田中 忍	建明 雄
岩内 誠	谷川 藤	清降 直
梅沢 麻衣	明川 角	守正 直
遠藤 秀	谷 藤	倉公 志
大崎 明	角 藤	高 志
大島 肇	中澤 中	久 志
太田 純	成 成	久 志
大塚 具	西谷 成	久 志
岡 邦	原 成	久 志
尾崎 茂	星 久	久 志
片山 尚	岡 三	久 志
山山 尚	浦 三	久 志
山山 元	水 越	久 志
金子 好	満 三	久 志
金田 賢	滴 三	久 志
木質 賢	森 三	久 志
菊池 光	森 三	久 志
木内 正	森 三	久 志
小林 丸	森 三	久 志
丸藤 和	森 三	久 志
近藤 喜	森 三	久 志
斎藤 木	森 三	久 志
佐野 利	森 三	久 志
清水 幹	森 三	久 志
白井 恭	森 三	久 志
鈴高 信	森 三	久 志
高澤 美	森 三	久 志

## ●フレンズ1

相磯 浩	順一 恵子	江藤 祐
赤坂 佳	聖康 正	大泉 大
塚元 文	正 邦	大川 大
倉里 朝	知子 子	大島 大
浅野 文	美知子 子	大島 大
達部 裕	知子 子	大島 大
阿生 利	子 子	大島 大
池田 昭	子 子	大島 大
石川 弘	子 子	大島 大
石渡 政	子 子	大島 大
村井 幸	子 子	大島 大
伊藤 泰	子 子	大島 大
藤 雅	子 子	大島 大
伊 功	子 子	大島 大
藤 力	子 子	大島 大
稲垣 貴	子 子	大島 大

## ●フレンズ5

東 恭代	大野 紀子
江原 純子	大秋 香
石川 祥子	加河 野
潮田 伊織	河野 林
大川 朋彦	





# 東京交響楽団サポート会員制度

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。

そのために不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

## 個人会員

### フレンズ1

年額1万円～29,999円

### フレンズ3

年額3万円～49,999円

### フレンズ5

年額5万円～99,999円

### サークル10

年額10万円～249,999円

### サークル25

年額25万円～499,999円

### サークル50

年額50万円～

## 法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

### ブロンズ

年額10万円～

### シルバー

年額30万円～

### ゴールド

年額50万円～

### ダイヤモンド

年額100万円～

### プラチナ

年額1000万円～

## 会員特典

詳細はHP、  
又はお電話でお問合せ下さい

会員特典	法人会員	サークル会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約 <sup>*1</sup>	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内 <sup>*2</sup>	○	○	○	○	○

<sup>\*1</sup>一部対象外もございます。<sup>\*2</sup>東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

## 税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分<sup>1)</sup>について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。<sup>2)</sup>

<sup>3)</sup>但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご選贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail [supporters@tokyosymphony.com](mailto:supporters@tokyosymphony.com)

## 楽団員紹介 Meet the Musicians

ヴァイオリンからヴィオラへ、選び取ったヴィオリスト

# 山廣 みほ

YAMAHIRO Miho

[ヴィオラ フォアシュペーラー]2001年4月入団

趣味:キックボクシング、愛猫とのくつろぎ



©N.Ikegami

### 楽器を始めたきっかけ

幼少期よりクラシック音楽が日常的に流れる家庭で育ち、母が学生時代に副科でヴァイオリンを習っていたこともあり、4歳からヴァイオリンを習い始めました。

師事していた先生の勧めにより、小学5年生から地元の北九州ジュニアオーケストラに所属。このジュニアオーケストラは自由曲・初見の課題曲を演奏するなど、本格的な入団オーディションがある大人数のオーケストラでした。小学生のうちに厳しいオーディションを受ける経験があったことは、演奏家人生において貴重な機会になったと思います。

人生で初めて演奏した交響曲はドヴォルザーク「新世界より」です。この演奏経験は思い出深く、その当時購入したミュートはヴィオラと同じサイズということもあり、今もお守りのような存在になっています。

ジュニアオーケストラには中学3年生まで所属し、アンサンブルの楽しさに触れるうちに将来はオーケストラの一員として演奏することを夢見るようになりました。

ヴィオラに転向したのは大学入学後のことです。長くヴァイオリンを続けてきましたが、人の声に近いとされるヴィオラの音色や、周りの友人、その人柄、環境に惹かれ、転向を決めました。また当時、とても優しいウルリッヒ・コッホ先生に師事できたこともヴィオラに転向して良かったと思える理由となりました。

在学中は、選抜で室内楽に選ばれ、六重奏を組んでいました。先輩方のレベルに必死についていくこと、英語でのレッスンが大変でしたが、室内楽の奥深さも学べ、貴重な経験になりました。

武蔵野音楽大学卒業後、桐朋学園大学の研究科に進み、オーケストラ入団の夢を追いかけ

ていました。そして、2001年に東京交響楽団を受験し、今年で入団25年となりました。入団前は東響で演奏したことがほとんどなかったため、同期に西村真紀(首席ヴィオラ奏者)さんがいてくれたことが本当に心強かったです。

### 心と身体を整える時間

昔から体を動かすことが好きで、自宅に卓球台があったことから、小学校では卓球部に所属していました。当時、家族と掃除や家事をかけた勝負を日常的にしていました。

大人になってからはランニングに夢中になった時期もありましたが、寒さに弱く「室内で出来るスポーツがいいな」と思い、近所にたまたまあった、キックボクシングを始めました。

現役選手の優しい指導のもと、楽しく通っています。スポーツのリズムやタイミングの大切さは音楽との共通点を感じて、忙しい日々の合間の良いリフレッシュにもなっています。

家で待つ愛猫のラテ君にも日々癒されています。



愛猫のラテくん



幼少期、母と出演した発表会  
インタビュー:事務局

# NEWS & TOPICS

正団員

2026年5月1日付

吉江美桜 YOSHIE Mio [コンサートマスター]

第12回東京音楽コンクール 弦楽部門 第3位

第84回日本音楽コンクール 第3位

2019年、2024年エリザベート

王妃国際音楽コンクール セミ

ファイナリスト

桐朋学園大学ヴァイオリン科を

首席で卒業後、同大学ソリスト

ディプロマコースを最優秀の成

績で修了。



新入団

2026年5月1日付

カーン日和 KHAN Hiyori [ライブラリアン]

退団

2026年5月31日付

加藤幸子 KATO Sachiko [ライブラリアン]

1984年に第1ヴァイオリ奏者として入団、38年間活動した後、再雇用にて事務局・ライブラリアンとして勤務いたしました。

藤山保子 FUJIYAMA Yasuko [事務局・財務本部]

## 東京交響楽団オリジナルグッズ 新デザインで販売中

2026年4月新音楽監督ロレンツォ・ヴィオッティ就任に伴い、ロゴを一新致しました。

あわせてオリジナルグッズも新デザインで登場、4月から販売しています。

書きやすいと定評のあるボールペンや、新サイズのトートバッグは、ヴィオッティ氏のイメージカラーであるパーガンディを基調に、創立80周年を記念したロゴ入りです。また演奏会中でも安心してお使い頂ける、のどに優しいかりんを使った、チューブタイプの“水のど飴”[サイレントキャンディ]は、東響オリジナルシール付きです。

どうぞ公演会場にてお求めください。



オリジナルロゴ入りボールペン  
1本300円(税込)



サイレントキャンディ  
1本500円(税込)



オリジナルロゴ入りトートバッグ  
1枚1,000円(税込)

## 市内6施設で実施 ー 川崎市内巡回公演

「音楽のまち・かわさき」を推進する川崎市と共に、東京交響楽団楽団員が市内の福祉施設・病院・児童施設等へ訪問する市内巡回公演を行っています。弦楽四重奏や木管五重奏など、会場のニーズに合わせた親しみやすいプログラムで生の音楽をお届けしています。2025年度は6か所、延べ295名にミニコンサートを楽しんでいただきました。



## 東京交響楽団アジア・プロジェクト マレーシア・フィル合同演奏会

2026年4月18日東京交響楽団アジア・プロジェクトinマレーシア

昨年9月に引き続き、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会に、合同オーケストラとして参加しました。会場は、ツインタワーでお馴染みのペトロナス・フィルハーモニックホールです。リハーサル初日は、久々の再会を喜び合う楽団員同士の姿が印象的でした。



指揮にはドイツの名匠イェルク＝ペーター・ヴァイグレ氏(写真左)、オルガニストには、ドイツの実力派の一人であるミハエル・シェーンハイト氏(写真右)を迎え、オルガンの名曲とマレーシアでは演奏される機会が少ないブルックナー：交響曲第4番を演奏し、聴衆から大きな喝采を受けました。

なお、当団の楽団員の衣装は、マレーシアでは初お披露目となる、コシノジュンコ氏デザインによる衣装を着用して演奏しました。



18日の演奏会に先立ち、クアラルンプール日本人学校を訪問して弦楽四重奏によるアウトリーチ公演を実施しました。

小中学生と保護者を含む約300名の皆様の前に、ヴィヴァルディ「四季」より《春》やMrs. GREEN APPLE「ライラック」などを演奏しました。真剣な眼差しで耳を傾ける姿が印象的で、私たちにとっても心に残るひとときとなりました。

## TOKYO SYMPHONY VISAカード ご入会キャンペーン実施中

新音楽監督ロレンツォ・ヴィオットティの就任を記念して、現在TOKYO SYMPHONY VISAカードご入会キャンペーンを実施中です。カードにご入会のうえフォームよりお申込みをいただいた方の中から抽選で**第九ペアチケット**や**サイン入り生写真**をプレゼント！新音楽監督ロレンツォ・ヴィオットティの姿をデザインした、4月からの新デザインのカードをお届けいたします！お得なこの機会にぜひお申込みください。



### ●キャンペーン期間

2026年5月31日(日)まで

※お申込みからカード発行までにお時間がかかる場合があります。お早めにお申込みください。

### ●ご入会特典

**A** 「特別演奏会 第九2026」SS席ペアチケット  
(抽選で5組10名様)

日時：2026年12月28日(月) 18:30開演 サントリーホール

**B** 第4代音楽監督ロレンツォ・ヴィオットティ サイン入り生写真  
(抽選で5名様)

TOKYO SYMPHONY  
VISAカード  
ご入会キャンペーンの  
お申込み・詳細は  
こちらから



文化貢献型カード「TOKYO SYMPHONY VISAカード」とは？  
皆様のご利用金額の一部が、カード会員の皆様に負担をおかけすることなく、東京交響楽団の演奏活動資金として三井住友カードから還元されるシステムになっている文化貢献型のカードです。音楽を愛する皆様にお得で便利な特典も多数ご用意しております。



詳しくはこちらから

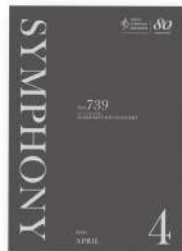
〈お問合せ〉 TOKYO SYMPHONYチケットセンター 044-520-1511 営業時間 平日10:00 - 18:00 (土日祝休み)

## 演奏会プログラム広告協賛のお願い

東京交響楽団では、演奏会プログラム「Symphony」への  
広告協賛を募集しております。

本プログラムは毎月数千人のお客様に配布され、質の高い  
文化芸術に関心をお持ちの皆様へアプローチできる媒体です。  
広告掲載を通じて、貴社の情報発信とともに、当楽団の活  
動をご支援いただけますと幸いです。

詳しくは東京交響楽団 広報本部までお問い合わせください。  
TEL.044-520-1518(平日10:00~18:00)



## NEXT PROGRAM

6月は定期演奏会を2回開催いたします。

6/13  
SAT

第741回 定期演奏会  
18:00 サントリーホール

指揮:オスモ・ヴァンスカ | ベートーヴェン:交響曲 第8番  
ラフマニノフ:交響曲 第2番

S¥8,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,500 P¥3,000



©Joel Larson

6/27  
SAT

第742回 定期演奏会  
18:00 サントリーホール

指揮:沖澤のどか  
カウンターテナー:藤木大地\*  
合唱:東響コーラス  
合唱指揮:キハラ良尚

デュカス:交響詩「魔法使いの弟子」  
グノー:歌劇「ファウスト」から「ワルツ」 “バレエ音楽”  
メンデルスゾーン:序曲「静かな海と楽しい航海」  
ブラームス:運命の女神の歌  
ブラームス:アルト・ラプソディ\*

S¥8,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,500 P¥3,000



©Felix Broeze

TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511(平日10:00 ~ 18:00 /土日祝休)



©TTairadate



# 東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ  
新潟市準フランチャイズオーケストラ



公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティアンサンホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、教育プログラム「こども定期演奏会」[0歳からのオーケストラ]も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ59都市83公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45台カメラを用いた《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、第3代音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。特に、2022年よりスタートした「R. シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賞を博した。

桂冠指揮者にユベール・スダーン、名譽客演指揮者に大友直人を擁する。

2026年4月よりロレンツォ・ヴィオッチィが第4代音楽監督に就任。

Founded in 1946 as the Toho Symphony Orchestra, the ensemble adopted its current name, the Tokyo Symphony Orchestra, in 1951. It presents subscription concerts at Suntory Hall, Muza Kawasaki Symphony Hall, and Tokyo Opera City Concert Hall, and has received nearly all major music awards in Japan, including the Minister of Education Award. In addition to serving as the resident orchestra of the New National Theatre, Tokyo, the orchestra is actively engaged in collaborations with local governments such as Kawasaki City and Niigata City, as well as in a wide range of community and educational programs, including the "Kodomo Subscription Concerts" and Kids Programme ~Orchestra Experience from the age of "0 years". Its international activities, including performances at the Musikverein in Vienna and the "Asia Project," have also attracted considerable attention.

The orchestra has further distinguished itself as a leader in digital innovation within the classical music world, being the first Japanese orchestra to launch a music and video streaming subscription service, as well as introducing VR orchestra experiences and electronic ticketing. In 2020, a live-streamed concert without an audience on the Nico Nico Live platform drew approximately 200,000 viewers, and in December 2022, its performance of Beethoven's Symphony No. 9—filmed with a record 45 cameras—garnered widespread attention.

In recent years, under the leadership of its third Music Director, Jonathan Nott, the orchestra has attracted significant attention as one of Japan's leading orchestras. In *Engaku no Tomo* magazine's "Top 10 Concerts," *Salome* (2022) was ranked second, followed by *Elektra* (2023), which was ranked first. The third and final of the project, *Der Rosenkavalier* (December 2024), also received outstanding critical acclaim.

Lorenzo Viotti becomes 4th Music Director in April 2026.

<p>マエストロ・シート 【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】</p>	
<p>NICO NICO TOKYO SYMPHONY ニコニコ東京交響楽団</p>	
<p>音楽・動画配信サイト「TSO MUSIC &amp; VIDEO SUBSCRIPTION」 1か月550円(税込)</p>	

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT DISCOUNT

## Symphony

Symphony 2026年(令和8年)5月号[非売品]

発行公益財団法人東京交響楽団  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764

<川崎オフィス>  
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミュゼ川崎セントラルタワー5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHK ビジネスクリエイト

このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮した  
ユニバーサル・デザインフォントを使用しております。